

令和 2 年仕事納め式訓示

(本庁・船泊支所)

令和 2 年 12 月 30 日

私たちの仕事は「町民の皆さんの幸せのためにある」と云い続けてまいりましたが、今、まさしく、その「町民の皆さんの幸せ」のために汗を流すときです。

コロナ禍で不安の中「町民の皆さんが健康で元気に働ける環境をつくること」が、町職員としての自覚を持ち、気概を持って、新型コロナウイルス感染症の脅威から、町民の皆さんを守っていく私たちの仕事です。

今日は、令和2年の仕事納めであります

今年は、一年間、新型コロナウイルス感染症で過ぎたと云ってもいいほど、毎日毎日がコロナの話題で、同じ話題のニュースがこんなに長い期間流されるというのも珍しいことでした。特に最近はイギリスで感染力の強い「変異ウイルス」が確認され、日本国内でも確認されるという新たな心配が出てきました。また、南アフリカでは「別の変異ウイルス」が確認されています。更に、3%台であった陽性率も、このところは8.2%と高い確率で感染が拡大する傾向にあります。いつになったら終息するのか心配はますます高まるばかりで、私たちは今回のコロナ感染症で、翻弄された一年であったと思っています。「令和」という新しい時代が、何かしら素晴らしい素敵な時代になるなど期待をしていただけに、本当にとんでもない世の中になってしまったと感じているのでございます。職員の皆さんにも、コロナ感染症防止対策、あるいは経済対策等々、本当に忙しい、また、厳しい日々を過ごさせてしまったこと、本当に、申し訳なく思っていますし、感謝もしているところでございます。

見えないウイルスとの闘い、宗谷管内でも多くの感染が確認されました。向かいの利尻島にまで感染が迫ってきた時には、絶対に礼文島にはウイルスを持ち込ませない、持ち込まないと感染症防止対策の徹底を指示させていただきました。

そうした厳しい中でも、職員皆さんの自覚と頑張りのおかげで、礼文島には未だに感染が確認されない状況が続いており、町民皆さんの命と健康を守っていただいていることに、あらためて感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

しかし、今年の夏、花の咲く礼文島の一番素敵な季節に観光のお客さんがまったく見えないさびしい夏を初めて経験しました。あの礼文島の夏の賑わいが消えてしまったのでございます。そして、このことが、わが町の観光のみならず、交通運輸から飲食、また小さな商店に至るまですべての業種業界におよびました。関係がないと思われていた漁業にまでも、うに、こんぶ、ホッケなどの魚価安をもたらし、島全体の経済が、かつて経験したことのないほど落ち込み、本当に大きな打撃となったのでございます。

このことによって、わが町の漁業水揚げも、30億円には遠く及ばず、観光にあっては壊滅的な打撃となって、厳しい局面になっているわけであります。

町としても、国の定額給付金や子育て世帯への臨時特別給付金、医療機関を支援する緊急包括支援交付金をはじめ地方創生臨時交付金や町の貯金、財政調整基金を取り崩して、「緊急支援」「継続支援」「V字回復支援」と云う3つの区分に従い、総額で云いますと5億2,993万円という多額の感染症防止対策と地域の皆さんへの支援等経済対策を行ってきたところでございます。

厳しい状況のなか、島で商売をされている事業者の皆さんにこれからも事業を継続していただくために、今、私たちにできる最大の対策を講じたと考えていますが、まだまだ景気回復には届いていないと感じています。

昨年の仕事納めで、私たちの仕事は「町民の皆さんの幸せのためにある」と申し上げましたが、早速、今年、私たちの目の前に現実として現われていると思います。

では、その「町民の皆さんの幸せ」とは、何か？

私は、「コロナに感染せず、町民の皆さんが健康で元気に働ける環境をつくること」ということだと思えます。

幸いにも、今、皆さんのおかげで、礼文島にはコロナウイルスが確認されていません。

まさしく、私たちは、この状況を続けて、新型コロナウイルス感染症の脅威から町民の皆さんを守っていくこと…
コロナに感染していない安心安全な礼文島にすること…
これが「町民の皆さんの幸せ」のためになることだと信じております。

また、これから万が一にも島内で感染者が出た場合でも、きちんと不安のない対応をすることであると思えます。

このことを忘れることなく、私たちは、来年に向けても、ポストコロナ対策を徹底して行ない、そして、厳しい町内の経済景気の立て直しに全力で臨んでいかなければなりません。

職員の皆さんには、大変重たい命題ではありますが、町職員として自覚を持ってやりぬいていただきたいと心からお願い申し上げます。

そしてもうひとつは、今年8月の豪雨災害であります。
あの「50年に一度」と云われた大雨に見舞われ、6年前と
同じ光景を目にいたしました。

この時も、職員の皆さんには、災害出動等で大変だったと
思いますし、その後の災害査定等々に対応するため、連日に
わたる長時間勤務など本当に頭の下がる思いであります。が、
何と言いましても、人的被害がなかったということが一番う
れしく、皆さんに感謝しているところであります。

すでに被災箇所の復旧工事が始まったところもあります
し、来年度に繰り越して行われる箇所もあるとうかがってお
りますので、町民の皆さんの生命財産を守るために、それぞ
れがさらなるご尽力をいただきますよう、お願い申し上げる
次第でございます。

最後になりますが、令和2年、私たちの日常はすっかり
様変わりをしました。礼文島も観光客の見えないさびしい
夏をすごしました。皆さんにとっても、礼文島から出られ
ない日々、ご家族とも会えないつらい一年だったと思います。

さらに、今年は「静かな年末」、「静かなお正月」を過ごさなければなりません。 当たり前だったことができなくなってしまった、そんな試練の年になったと思います。

でも、だからこそ、私は、来たる新しい年を、大きな期待をこめて、希望を持って明るく迎えようと思っています。

「夜明け前が一番暗い」と云われます。「冬来たりなば、春遠からじ…」とも云われています。 職員の皆さんも、来たる新しい年に、しっかりと明るい希望を抱いていただいて、私たちが明るい年にするんだという強い気持ち。気概。この気概を持っていただきたいと願っております。

今年一年大変な年でありましたが、本当に皆さん頑張ってくださいました。 皆様のご支援ご協力にあらためて心から感謝を申し上げ、仕事納めの訓示といたします。 一年間、大変、お疲れ様でした。 来年、元気にお会いしましょう！ ありがとうございました。